

つるぎ
鶴来地区
(石川県白山市)

- 計 画 期 間 平成 27 年度～令和元年度
- 面 積 267.8ha
- 交付対象事業費 473.6百万円
- 市人口 112,830人

ポイント 中心市街地の活性化と道路・公共交通ネットワークの整備

地区概要 北陸鉄道石川線の一部廃線等により市街地の空洞化が問題となっている。地区の豊かな自然や伝統・文化を活かした観光資源を整備するとともに、道路・交通ネットワークの構築により、まちなかの活性化を目指している。

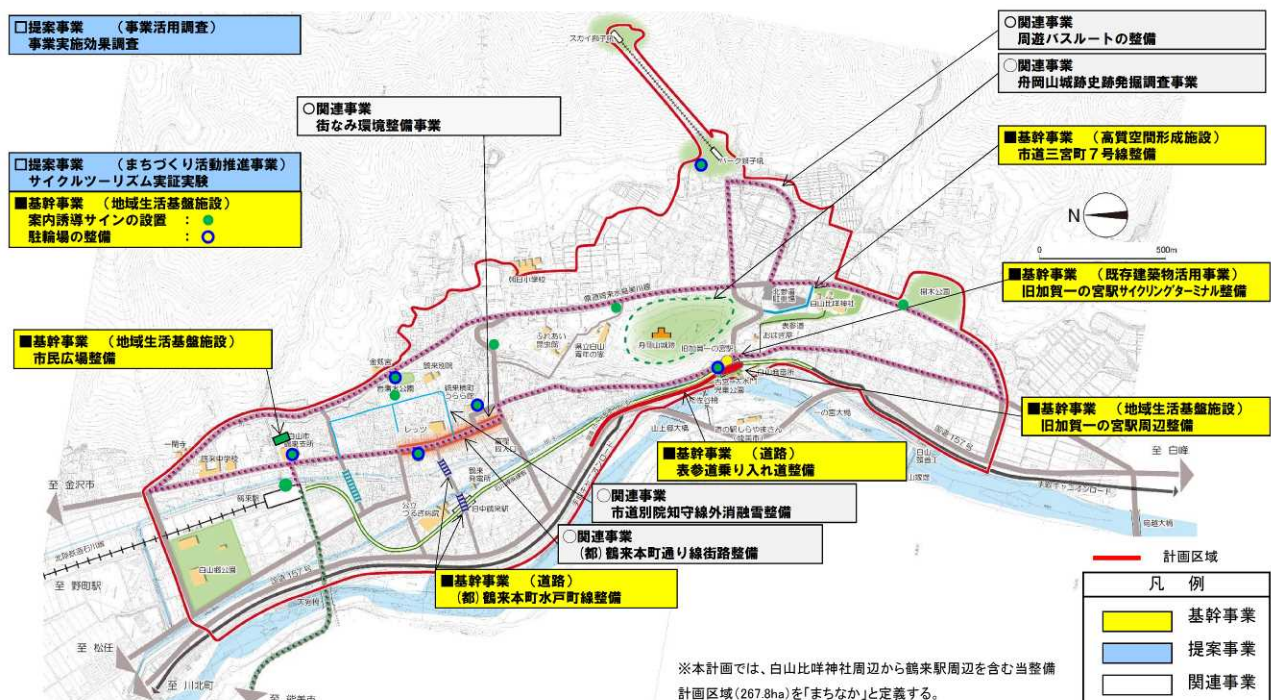
目 標 地元関係者が中心となって、鶴来地区のまちづくりのあるべき姿とその実現に向けた方策をまとめた『鶴来まちづくり活性化計画書』の具現化を図るため、地区内の観光拠点からまちなかへの誘導・まちなかを散策する仕掛け作りのためハード・ソフト両面から整備を行う。

指 標

地区内の回遊性向上と賑わい創出の指標として、空き店舗の活用件数、キャニオンロード利用者数を設定し、観光拠点からまちなかへ観光客を誘導するための指標として、“まちなか”とを行き来する参拝客数を設定した。

空き店舗の活用件数	3件 (H26)	→	21件 (R2)
キャニオンロード利用者数	182台/12hr (H26)	→	344台/12hr (R2)
“まちなか”とを行き来する参拝客数	812人/12hr (H26)	→	1,825人/12hr (R2)

事業内容 基幹事業 (469.8百万円) → 表参道乗り入れ道整備 (幅員 8.0m、延長 600m)、旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備 (N=1箇所)、旧加賀一の宮駅周辺整備 (N=1箇所)、道路 (2路線)、駐輪場の整備 (N=6箇所)、案内誘導サインの設置 (N=1箇所)、市民広場の整備 (N=1箇所)
提案事業 (3.8百万円) → サイクルツーリズム実証実験



地区の現況と課題

現況

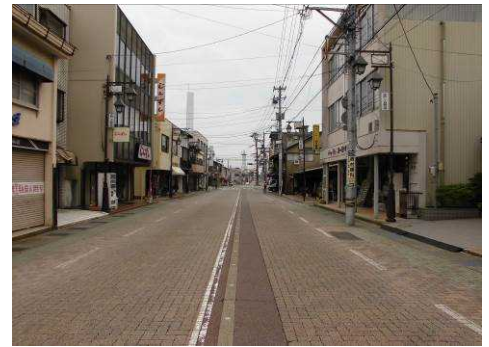
鶴来地区は、白山麓地域への玄関口として、製材業・醸造業等の産業・商業の拠点として発展してきた北部地区、全国 3,000 社余りある白山神社の総本宮白山比咩神社やパーク獅子吼、石川県ふれあい昆虫館などの観光施設が立地する南部地区に大別される。本地区には 5,000 人以上の人々が生活を営んでおり、地元商店街や行政で活性化に向けて各種の取り組みを行っているものの、近年の人口減少、少子高齢化、伝統産業の不振の煽りを受け商店街（まちなか）の衰退が止まらないことが大きな課題となっている。

北陸鉄道石川線の一部廃線

まちなかへの来訪者や買い物客の減少とそれに伴う空き店舗の増加等が課題である中で、平成 21 年には、本地区の北部と南部を結ぶ北陸鉄道石川線鶴来駅～加賀一の宮駅間が廃線となり、さらに市街地の空洞化に拍車がかかっている。

課題

白山比咩神社等が立地する南の観光拠点には年間 90 万人もの来訪者があり、この来訪者をいかにまちなかに誘導するかが課題となっている。本地区には、豊かな自然環境をはじめ、伝統料理、酒・醤油・味噌・酢といった四醸造品、獅子頭等の特産品、ほうらい祭り等のイベントなど、地域資源が豊富にあることから、これらの有効活用と交通ネットワークの構築等により、来訪者をまちなかに誘導し、多くの人々でにぎわう活力のあるまちなかを創出していくことが喫緊の課題である。



▲まちなかの現況（現在は、無電柱化工事中）



▲ほうらい祭り

提案事業の特徴

サイクルツーリズム実証実験

坂道が多い当地区の地域特性を考慮して、電動自転車の貸し出しによるレンタサイクル事業の実証実験を実施する。鶴来まちづくり協議会と連携を図りながら『自転車による鶴来まちなめぐりツアー』を実施することで、地区内に存在する豊富な観光資源や立ち寄り先となる飲食店等の問題点を分析・改善することで自転車によるまちなぐりの活性化を目指した。



▲鶴来まちづくり協議会打ち合わせの様子

計画策定プロセス

鶴来まちづくり活性化計画書

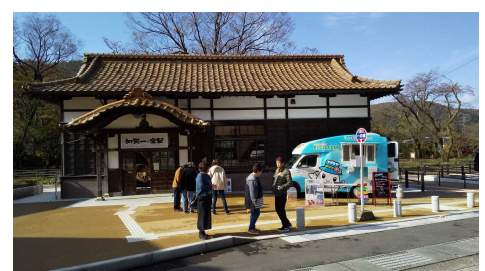
当初、北陸鉄道石川線の一部廃線問題への対処を契機として、地元関係者を中心とした「鶴来まちづくり委員会」が設立されたが、廃線問題という部分的課題のみならず、鶴来地区の将来について活性化方策を再考し、ハード・ソフト両面からまちづくりのあるべき姿とその実現に向けた方策にまで幅広く検討を進めてきた。平成 24 年 3 月には、これらをまとめた「鶴来まちづくり活性化計画書」が策定された。

鶴来まちづくり協議会

平成 24 年度、「鶴来まちづくり活性化計画書」の実現に向け、市役所と地域住民、有識者からなる「まちづくり協議会」を発足した。本整備計画では、鶴来まちづくり活性化計画書の具現化を図るべく、大きな集客力がある白山比咩神社からまちなかへの誘導・まちなかを散策する仕掛け作りのためハード・ソフト両面の整備を行った。



▲自転車によるまちなめぐりツアーの様子



▲改修後の旧加賀一の宮駅舎